

日付： 2004年10月 8日
 提出元： (株)アッカネットワークス
 題名： 多重漏話減衰量
 課題表対応 C.4.6.3

多重漏話減衰量の計算結果を報告する。

また、多重近端漏話の標本値の分布グラフを参考に示す。

1. 収容制限無しの場合

干渉源がカッド内1回線、隣接1回線の場合の多重漏話減衰量の計算結果

[単位： dB]

	平均値	標準偏差	2.33 値
近端漏話	62.54	5.02	50.8
遠端漏話	66.11	5.60	53.1

2. 収容制限有りの場合

干渉源が隣接2回線の場合の多重漏話減衰量の計算結果

[単位： dB]

	平均値	標準偏差	2.33 値
近端漏話	68.23	4.83	57.0
遠端漏話	68.64	6.40	53.7

多重近端漏話減衰量分布

